

生涯スポーツ

深町体育指導員

綱掛 正志

『生涯スポーツ』一言で言ってしまう、なんだろう？と、と思われる方が多いと思います。

生涯スポーツとは『だれでもどこでもできるスポーツ』、とご理解いただければよいかと思えます。

三原市体育指導委員は、生涯スポーツなど中心に研修、指導に従事しています。

それでは、現在三原市ではどんな生涯スポーツに取り組み指導しているか、いくつか紹介させて頂きましょう。

市内で一番人気の『ビーチバレー』協会本部は、当三原市にあります。大会も、市内大会をはじめ、多くの大会があります。地元の皆様の中にも、協会加盟チームに所属され、活躍されている方もぜひ多いと聞いています。

トに近いボールが何個あるかで点数を競います。一三点先取でゲームセットです。

文字では充分説明出来ませんが、結構楽しいスポーツです。この地区では、びんご運動公園にしか道具がありません。

先日、呉市で大会がありTV放映されていきました。

町内の皆様で、生涯スポーツ・ニュースポーツでご質問等ありましたらご連絡下さい。お答えさせていただきます。(六三六〇三 綱掛正志)

又、いろいろ市内大会等でご無理なお願いがあるかと思いますが、皆様のご協力よろしくお願ひ申し上げます。

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

★水戸川桂子様 六九歳 一言

三月町内行事予定

- ◆小学校(幼)
 - ◆マラソン大会 一日
 - ◆別れ遠足(幼)六日
 - ◆集金日七日
 - ◆参観日・期末懇談会(幼)お別れ会一日
 - ◆六年生を送る会一四日
 - ◆(幼)卒園式一九日
 - ◆卒業式二四日
 - ◆修了式 小・幼二五日
- ◆女性会
 - 上 二一日
 - 中 一日
 - 下 七日
- ◆親子会
 - 上 二一日
 - 中 一日
 - 下 七日
- ◆子ども会
 - ◆六年生を送る会 一六日
 - ◆オリエンテイリング 二六日
- ◆町内会関係
 - ◆町内会連合会
 - ・役員会 下旬
 - ◆上組
 - ・中国遊歩道管理作業 九日
 - ◆中組
 - ・役員会 中旬
 - ◆下組
 - ・役員会 中旬
- ◆消防団
 - ◆春季全国火災予防運動期間の行事として
 - 一、大実践訓練 市全体
 - 二、機関員講習 市全体
 - 三、機械器具点検 深町

中国の旅いばれ話

二月は東に日は西に

高崎 壽郎



深一岡マラソン

石井 哲代

校舎と 共に(十三)

西安を飛び立った飛行機は、十月五日の夕刻、西域支配の拠点でありかつ東西交易の隊商の宿場町だった敦煌に到着した。

敦煌空港は、市街より少し離れた沙漠(地下水はわりと豊かであり、地中まで乾いたアフリカのサハラ砂漠などは異なる)にあり、視界は何ら遮るものもなく全方位が見渡せる。

西方に眼をやると、今正に、砂の色と茜色の混じった大きな日輪が、ひと日の勤めを終えて静かに地平線沈もうとしていた。

辺りに漂い始めた冷気に身が引き締まる。

ふと振り返ると、兎の餅搗きも鮮やかに、大きな小望月(十日頃の月)が東の空に昇っている。太陽も月も深町では見ることができぬ程大きいものを感じた。

私は、三度三度西東と首を往復させた。

江戸時代の俳人と謝蕪村の菜の花や 日は西に

とはこのような風景を五七五にしたものかもしれない。大自然の雄大さに圧倒されたひとときだった。

次号は「空の青さ」

昨年のおリンピックの有森裕子さんを思うまでもなく昭和四十年代頃、三原工業高校(今の如水館)の生徒さん達のマラソンコースになっていた深町でも、校内マラソンが盛んでした。

朝、登校したら自主的に運動場を走っていました。トラック一周が百二十m。今朝は何周走ったか自分で自分を賞めながら自分のカイドへ記入してました。販売部やその他の用事で走れなかつたら休み時間や放課後、自分で自分に課したノルマの達成に全員で邁進していたと思います。

或る年の六年生、向井君と高崎君と秋永君が水曜日の午後職員会議が始まるうとしていた時、一深一周が実際何キロあるか測りたいので、車輪式測定器を貸して下さい。と言ってきた。

「あんまり無理をせんようにね。」と、中央階段の下運動器具倉庫から出して渡しました。

雪でも降りそうな沈んだ空模様。四時ごろ意気揚々の三人の姿に玄關へ飛び出しました。

「あ、無事でよかったです。」田屋から中筋を通って上組の倉庫(現 法代地家倉庫)の上から綱掛峠経由で、下組の公民館から昆布工場の前の道を通って、菰石の下の県道へ出て帰る。

春近し

梶谷良夫



鳥山も遠く煙りて降る雨は 春を呼ぶ雨あたたかき雨

日溜りの庭の牡丹の赤き芽は 指先ほどに脹らみて来つ

春を告ぐる黄砂来りて山々に 淡き霞のかかるが見ゆ

ひなびたる春の七草粥を炊く 真白き上に青のすがしき

この作品は、歌集「白光」からの抜粋です。著者は、昨年亡くなりました。

世は挙げて無責任時代である。国会に狸や狐がいることは公知の事実だが、サギまでいたとは。このサギが国会に住めるようにしたのは、選んだ国民の責任か。▼産業廃棄物五〇万トンに泣く香川県豊島町。ここに至るまでに許認可権限を持つ県当局に、不法投棄を中止させるよう、地区住民は何回も陳情したが聞き入れてもらえなかった。(NHK報道)

▼官々接待や空〇〇での不法支出の実体が各地の市民オンブズマンによって表に出ている。福岡県を筆頭に総額は何百億円である。エイズや、住専の責任追求も、本家本元に及んでいない。はとも思えぬ。▼政治家の公約が守られたら住みよい社会になることは確実だろうが、これは空手形と初めから解かっている。それを承知で乗せられる我々国民も甘い。「志」の有無が政治家と政治屋の違うところだろう。亡くなった司馬さんは、明治の政治家には戦略があったと言おう。▼地域住民が、その将来像を模索するとき、マクドナルドでなければ展望は開けない。一本の道幅が文字通り、地域の盛衰を左右する事実を目の当りにするにつけ、ミクドナルドでは限界がある。子孫に残す財産の中に、「私益追求限界」を練める一項を加えたい。



深町の発展を祈ります

河野 強



私の住んでいる所へ、毎週ヤクルトをヤクルトレディさんが配りに来ますが、地理的にそぐわないのか、条件が悪いのか、必ずといってよい程一ヶ月も経たないうちに配達人が変わります。ところが、うら若い愛想の良いレディさんに変わって不思議に長く続くようになっていたので、つい話しかけてみると、深町上組の新谷の若嫁さんだと聞いて吃驚しました。

「貴女の知らない桶の輪替え職だった、お爺さんのことを書いて本に載せたいので、これを、お家の方に読んで貰ってみて下さい。」と原稿をお渡ししました。

それから一週間後、突然、美ノ郷町の大道孝子さんから電話。「お爺さんのことを書いて下さって、有り難う御座います。懐かしいお爺さんの在りし日の面影を思い出して、涙が止めどもなくでました。弟が原稿をコピーして送ってくれましたので今読んでおります。」と。

青色申告

坪見 博文

今年で二十回目の申告書を書く。毎回、税の重さを感じながら……納税は国民の義務といわれるが、『笑顔で気持ちよく』納めることはむづかしい。税の勉強をしない私は特につらい。自業自得だが、遊ぶ時間はない。最近、いろいろ報道で、役所の不正経理が報じられる。空出張、空食糧費、空雇備等など。税金も何に使ったか、皆んなに見えれば納税に不満はない。

昔、百五十軒あまりの深町で生活しておられる人々の中に、我々の生活に、密接で切り離すことの出来ない職をお持ちの方の多いのに驚きます。

他の村へも出張公演され、多くの村々の方々に浴びたもので、私の子供の頃に、山中村(現中野町)常永の田圃の稲刈り跡へ芝居小屋を打ち、公演されたのも思い出の一つです。今に演じておられた名俳優、役者さんの氏名を、干川神社に額にして奉納されているのが往時を偲ばれる人びとですね。

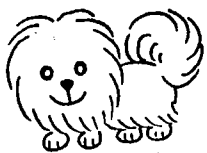
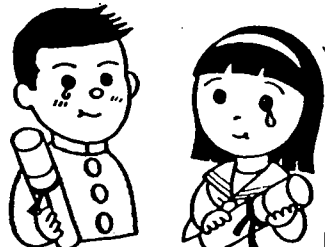


深井で
幼なじみの
友の会

ばあさんに
なつて深井
皆達者

幸崎町 木下絹子
(旧姓 井手上)

『行政改革で節約を』と言っているが、議員さんは損なことではない。四月から消費税も5%になる。官僚・特殊法人・公共事業等の不明朗な無駄使い。そちらを先に正してほしい。笑顔で納税する日が一日も早くやってくることを待っています。



独立して以来、地形的にも、又地域の特長性もあってか、上組中組 下組が分離したかのよう感じられたが、然し、予想外に、如水館高校が深町に出来、地域の皆様の理解と努力で、深町全体の連携を密にされ、一丸となって学園の町作りに努力されていることに敬意を表します。

長年郵便局に奉職したお陰で、暖かい深町の方々の数々のふれあい。また私の家内(編纂者・平高喜子)の生まれ育った故郷でもある深町の発展には、私も関心があります。

深の方言

なまり(四)

石井 良雄

さえん 調子が悪い
さげろ 軽いものを持ち上げる
ささくろ つかます
さばる つかます
さび(み)い 寒い
さぶ 湯田
さまくれ 粗雑・あらまし
さるこ かしこまる
さんこ ちゃんちゃんこ
さんにゅ(よう) 勘定・計算

(シ)

しける 元気がない
じなくそ ぐだちんぐだ
じやこ 小魚
じやが だんご・しんご
じやんしゃん 気がきく
じゅんならん いじが悪い
じょうと 本気口真
じょうとぎも 臆病・小心
じょうり 水車
じょうばな 最初
じょうじゅう じいぢい
じりい いかぢい
しるみて 田植え終りの祝い
しんぎやあ 思のほが
しんじょう 財産
しんびょうに 辛抱強へ
しんやあ とき

(す)

すえる ぐさ
すかべ 音たてぬおなら

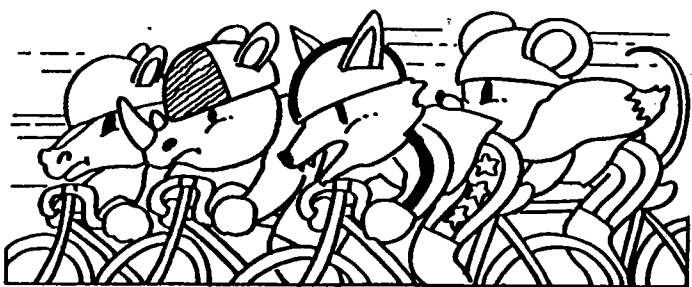
すばぶる しやあ
すばれる しおれち
ずり 木の無い山肌
ずんど せんせん・まもり

(せ)

せーなら それなら
せっぴ ばい
せぶる 強請する
せらう わたぢ
せわあーやって 世話をして

(そ)

そーれみい それみい
そーでがんす ぞんず
そばあ(い) にわか雨・通り雨
そぶく 子どもをあやす
そやす おだてる
そらぶ ぞんず
そんぎやあな ぞんず



歩道設置に前進

通行車両の増加に伴い、県道歩行者の安全確保が、深町の大きな課題でした。この度、地権者の皆さんのご協力と、行政当局の深いご理解で、用地売買調印できることになりました。

(正式な工事名称は『尾道三原線交通安全施設整備事業』です。)

調印は、二月二十五日、深町町民会館で行なわれました。完成は着工から四〜五年懸ります。歩道下には、水道管理設もお願ひされています。一日も早い着工が待たれます。